

～使用電力100%地産池消のイルミネーション～ みんなで咲かせよう!“冬の桜”

『目黒川みんなのイルミネーション2011』

桜並木のイルミネーション 開催期間：11月18日(金)～12月25日(日)

目黒川みんなのイルミネーション実行委員会(事務局：CreativeOut®)は、開催エリア周辺から回収した使用済み食用油を利用し、エネルギーの地産地消を実現したイルミネーション「目黒川みんなのイルミネーション2011」を、11月18日(金)～12月25日(日)の期間開催いたします。

「目黒川みんなのイルミネーション2011」では、昨年につき、五反田ふれあい水辺広場を中心に、目黒川沿いの桜並木を約156,000球のオリジナル桜色LEDで装飾し、イルミネーションによる「冬の桜」を演出いたします。

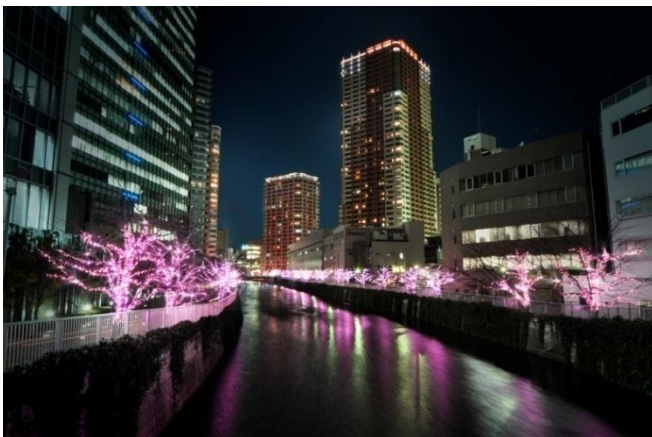
2年目の開催となる今年は、「みんなで咲かせよう!“冬の桜”」をコンセプトに、エネルギーの地産地消を実現いたします。本イルミネーションでは、9月～11月にかけて開催エリア周辺のご家庭や飲食店、及び品川区清掃事務所から回収した使用済み食用油をバイオディーゼル燃料へリサイクルし、発電機の燃料として利用いたします。100%自家発電による再生可能エネルギーで、すべてのイルミネーションを点灯させることを目指しております。

新エネルギー利用への意識が高まりつつある中、単に購入したグリーン電力を利用するのではなく、地域から出るゴミ(廃棄物)を再利用し電力を賄うことで、本イベントを新エネルギーの利用と啓蒙の場としても提供してまいります。

【プロジェクトの背景】

大崎エリアでは、テクノスクエア構想(大崎駅周辺地区市街地整備構想)というコンセプトのもと再開発が進んでおり、現在多くのハイテク機器関連企業が集まっております。また、同時に多くの住宅も供給され、たくさんの家族が移り住むなど、東京副都心計画の一端を担う街として、進化し続けています。

2年目となる今年は、この再開発されゆく街への愛着や誇りを醸成するとともに、日本の新エネルギー普及に寄与できればという願いから、「目黒川みんなのイルミネーション2011」に取り組みます。



※写真は昨年実施風景です。



※写真は昨年実施風景です。

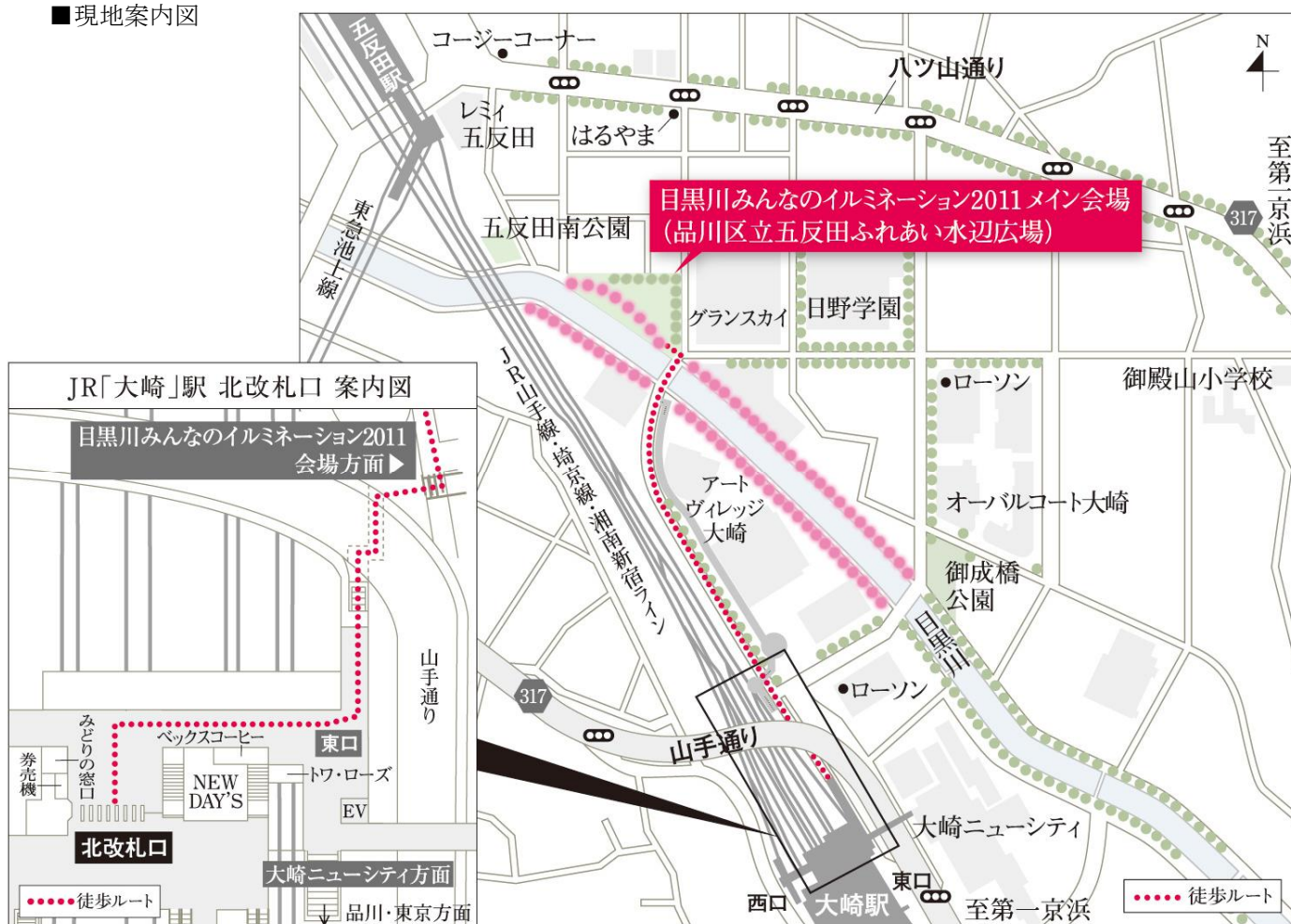
【本件に関するお問い合わせ先】

『目黒川みんなのイルミネーション』PR事務局 担当：藤原・宮島
TEL：03-5572-6064 FAX：03-5572-6065 Mail：meguro@vectorinc.co.jp

●「目黒川みんなのイルミネーション2011 概要」●

- 正式名称：目黒川みんなのイルミネーション2011
- 会場(住所)：品川区立五反田ふれあい水辺広場(東京都品川区東五反田2-9)、及び目黒川沿道
- アクセス：JR「大崎」駅より徒歩6分(品川区立五反田ふれあい水辺広場まで)
- 点灯式：2011年11月18日(金)
- イルミネーション点灯期間：2011年11月18日(金)～12月25日(日)
- 点灯時間：17時～22時
- 電球の数：156,000球
- 料金：無料
- 問い合わせ先(一般)：目黒川みんなのイルミネーション実行委員会／TEL:03-5330-7675
- サイトURL：<http://www.minna-no-illum.com/>
- 使用電球：LED
- 使用電力：バイオディーゼル燃料による発電機を利用
- 主催：目黒川みんなのイルミネーション実行委員会
- 協力：一般社団法人大崎・五反田タウンマネジメント
一般社団法人大崎エリアマネジメント
- 後援：品川区、しながわ観光協会

■現地案内図

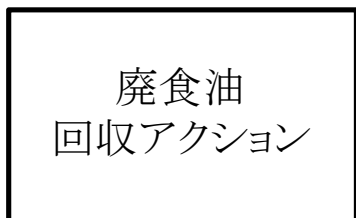
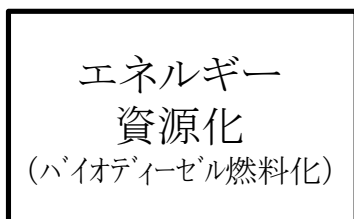


... <参考情報>

●「目黒川みんなのイルミネーション2011」活動概要

回収した使用済み食用油の
95%をバイオディーゼル燃料として再資源化

【廃食油】 → 【バイオディーゼル燃料】

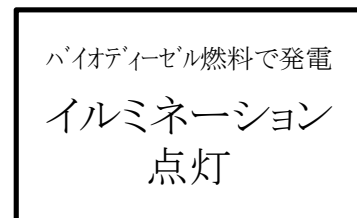


会場周辺のご家庭や飲食店から
排出される使用済み食用油を回収

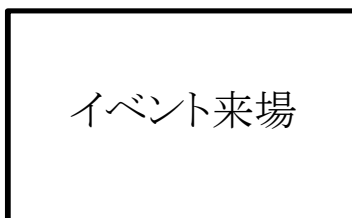
開催エリア周辺から集めた廃食油で点灯させる
“みんなのイルミネーション”を実現

+

新エネルギーの利用&啓蒙



軽油と同じバイオディーゼル燃料により、
イルミ会場で発電機を稼働して
電気をつくり冬の桜の開花



再生可能エネルギーの利用が見える化することで、
来場者に新エネルギー利用に関する
“気づき”や“共感”を提供

● バイオディーゼル燃料とは？

国内で排出される廃食油は年間約40万tに登ります。食品関係企業等から排出される約20万tの廃食油は飼料や石鹸等で再生される一方で、家庭から出る残り約20万tの廃食油の多くは、ゴミとして捨てられるか、生活排水となり環境破壊の原因ともなっています。

この廃食油をエネルギー資源として再利用できるようにしたものがバイオディーゼル燃料です。バイオディーゼル燃料は軽油の代替燃料としてディーゼルエンジンを動かします。また、大気中のCO2を吸収した植物が原料であるため、もともと存在した以上のCO2を増やさないとされています。さらに酸性雨の原因とされる硫黄酸化物をほとんど出さず、軽油に比べ黒煙も約3分の1以下と少なく、資源循環型の再生可能エネルギーとして注目されています。